

－ これまでもこれからも essai －

思えば、独立へと舵をきったのは“自分のキャパシティーはどのあたりみあるのか、それを探ってみよう！”ということでした。当初は「実験人生」とよく言ったものです。

「パーソナル・アシスタント」と1991年にネーミングした業の概念も実践も、今となっては、“自分に相応しいこと、自分がいけることをやっているんだ…”とわかってきました。

わかってきたこと、まだわかっていないこと、これからも自問自答を重ね、あなたによき「パーソナル・アシスタント」であり続けられるよう、自他を見直し、刷新するく **essai エッセー 試し** >に努めてまいります。

2018年4月2日 リー・ヤマネ・清実

－ 「知性のむこうに感性がある」を心にきざみ －

『ロボットと未来社会』。1997年8月に東京であった国際シンポジウムです。「アルビン・トフラー」、「松本元」、「マービン・ミンスキー」など、登壇者は20数名。技術系から文化系まで、多岐にわたる議論を直に聴くことができたのは幸運でした。

あれから20年。その未来社会がここにきて一気に加速しています。誰もが分身ロボットを持つようになるはず。スマホはその〈はしり〉のようなもの。そこで素朴な疑問がわいてきます。AIライフスタイルの社会になって、さて、人間の方の知能はどう育まれていくのか。

「知性のむこうに感性がある」。大切にしている恩師の言葉です。AIの進展と世界情勢の大きな転換とが絡み、人智が試されていくと感じる昨今。直感的に瞬間的に、真理、真実、真意、真価、真因をみてとる力はこれまで以上に成否をわけそうです。

毎年4月1日に更新しているこのトップメッセージ。社会の変化、人の変化、自分の変化に目を向けつつ、仕事や仕事以外で接する人たちの真意をくみとり、真価を引き出し、その人たちの前進を絶妙のタイミングでアシストできるよう、知性の活発な働きに努めたいと思います。

2017年4月1日 リー・ヤマネ・清実

今年の桜はすでに「満開近し」。リニューアルしたこのホームページは満3年。〈自分ならでは〉のライフとワークを自問して自答した〈パーソナル・アシスタント〉は、満25年。

〈パーソナル・アシスタント〉を尊重し、理解し、受容する人たちのおかげで、誰かの〈パーソナル・アシスタント〉として、その人の〈自分ならでは〉になるよう務めるとことができました。

信頼に応え務めつづけるためにも、狎れに陥らず、安定に安住せず、新鮮さを保ち、学びを深め、〈パーソナル・アシスタント〉に磨きをかけていきたいと思えます。ライフワークにはテーマが尽きません。

2016年4月1日 リー・ヤマネ・清実

ーP. A. 2nd 新しい序章をひらいてー

事務所開設から21年目に入りました。最初の10年は序章、次の10年が本章。20年もするとさまざまなことに慣れて、熟れてきます。ややもすると、狎れかねません。

仕事にも人にも、そして自分の生き方にも狎れないよう努めてきたつもりですが、あらためてそのことを心にとめ、あなたの<自分ならではの>のビジネスとライフをアシストし、わたしならではの業を究めたいと思います。

21年目の新しい序章をひらいて、新年度の始まりを迎えます。

2015年4月1日 リー・ヤマネ・清実

ー 20年目の「いき」 ー

ホームページをリニューアルしてはや1年。この春からは事務所開設20年目に入ります。20年前とはちがう熟れた「意気」が静かに起ちあがります。仕事と人生の前編が終り、新しく後編が始ろうとしていますから。

その後編こそ本編といえるかもしれません。パーソナル・アシスタントをライフワークとして、経営者や起業家、自分ならではの仕事と人生を創ろうとするあなたへ、「粋」なアシストができるよう努めていきます。

2014年4月1日 リー・ヤマネ・清実

ーP. A. 2nd へー

LEE'Sのパーソナル・アシスタントも“二十歳”をすぎました。青年の心をわすれず、成年ならではのアウトプットを「P. A. 2nd」に込め、次の20年を歩きはじめています。

すべては自らの意思決定にかかっていると肝に銘じるあなたの、次の一手を計り、実践を後押しするパーソナル・アシスタントであること。そのためにも“うでに磨き”をかけていきたいと思います。P. A. 2ndへ。

2013年4月1日 リー・ヤマネ・清実